

〈祈りのために〉

「あなたのような神がほかにあろうか。咎を除き、罪を赦される神が」

ミカ書7章18節

「災いだ、寝床の上で悪をたくらみ 悪事を謀る者は」(ミカ2:1)。ユダの農民であるミカが預言したのは、北イスラエルがアッシリアに滅ぼされる時代でした。その時、北イスラエルのカナン商人の多くが南ユダに逃亡しました。カナンの商人とエルサレムの支配層は、「食欲に畑を奪い、家々を取り上げる。住人から家を、人々から嗣業を強奪する」(ミカ2:2)のです。彼らは、イスラエルの土地法を無視したために、ユダの農民が益々貧しくなりました。12部族連合時代からの「嗣業」(レビ25:23以下)である土地を巧みに取り上げ、借金を返せない農民を借金奴隷にしたのです(アモス2:6,イザヤ5:8)。彼らが奪い取る土地は、神の賜物でした。イスラエルの土地は、神の賜物である土地を、モーセがイスラエルの民に、くじを引いて嗣業として与え(民数記34:13)、ヨシュアが土地を分配した(ヨシュア13-22章)ものでした。そこには神による民への公正さと公平さがあるのです。

ところが、神がお与えになったものを、彼らは奪い取るのです。これは主の御業を破壊する行為です。彼らは、ヤーウェの神よりもカナン宗教に陥って、利害を優先する者となったからです。カナンには、農耕祭儀と結びついた豊穰神(バアル)崇拝がありました。バアルは農業の豊穰と多産とをつなげる、生殖に係る神々です。バアルへの祈りは、恍惚と乱痴気騒ぎに導き、その宗教的自己中心性が政治的・経済的倫理道徳を腐敗させたのです。

「あなたの杖をもって、御自分の民を牧してください」(ミカ7:14)。これは祈りです。腐敗から脱却するには、祈りしかないからです。「お前がエジプトの地を出たときのように、彼らに驚くべき業をわたしは示す。諸国の民は、どんな力を持っていても、それを見て、恥じる」(ミカ7:15,16a)のです。この世の邪な力は、何らかの偶像礼拝を行わせます。国民の象徴という偶像礼拝、組織という偶像礼拝、お金という偶像礼拝などです。私利私欲に凝り固まっている者にとって一番恐ろしいのは、正義と公正です。小さくとも弱くとも真摯に神の真理に従う人です。

神は生きておられます。それだけで十分解決しております。疫病が覆っているこの世界に、神の栄光が輝いているのです。「娘シオンよ、立って、脱穀せよ」(ミカ4:13)。これまで人間の能力を絶対としてきた殻が砕かれるのです。科学技術や医学がこれほどまでに発達している中で、益々人間の能力や知性への期待が高まり、人間の精神は、食欲・野心・情欲に占領され、幸福を地上にしか求めません。民主主義はエゴイズムとなり、民族運動は自民族中心主義に陥っています。人間のみへの信頼と讃美は、偶像礼拝です。世界を覆っている疫病は、神がこの偶像礼拝の不幸を予防するために、悲惨さをもたらしておられると思います。

神を待ち望む私たちには祈りが必要です。神は手を広げて、天の宝を開放してくださいました。私たちは全信仰を傾けて、愛してくださるキリストに一切の期待を懸けて祈るのです。

〈祈り〉 主よ、最終的にあなたの真実がこの世界に明らかになることを期待し、苦難や迫害を受けても、死の後の確かな生命を仰ぎ望み、その重荷がどんなに重くても辛くても、感謝と喜びをもって十字架を背負って生きる者にしてください。

川越弘(大会靖国神社問題特別委員会委員 沖縄伝道所牧師)

新シリーズ開始『その時に備えて Part 2』を読む（2）

桑 広国（函館相生教会牧師）

Q2 現天皇は、尊敬に値する人物ではないでしょうか？

A2 まず、「尊敬に値する人」というのは、その人の人格が秀でていたり、立派な功績を成し遂げたり、それぞれの分野で秀でた人であったりします。ですから、「尊敬に値する人物」であるかどうかは、その人物の行為や人柄に基いてなされる評価です。しかも、客観的に高評価を得ているとしても、その人物を尊敬するかどうかは、人それぞれの自由です。

現天皇の場合、被災地を訪れたりする行為や、魚類学の研究者としてその業績が尊敬いされているかもしれませんが、また、いわゆる護憲派と呼ばれる人々の中にも、現天皇の平和を愛する人柄や、憲法を守るという態度表明を評価し、天皇を尊敬するという人もいます。

このように、現天皇を尊敬するかどうかは、あくまでその人その人の自由です。ただ、私たちが知る天皇の姿は、報道される程度の非常に限定されたものでしかなく、皇室神道の宗教者としての姿はあまり知られていません。現天皇を尊敬すべきという場合は、天皇の何をもって尊敬すべきなのか、それが正しい姿なのかを、よく考えた方がいいでしょう。

天皇が天皇という地位にあるだけで、「尊敬に値する人物」だとなると、それは尊敬の強要になり、本来の尊敬の意味からも外れてしまいます。

新 Q2-1 天皇は戦前、どのように位置づけられていましたか。

新 A2-1 明治政府による「大日本帝国憲法」は、第一条で「大日本帝国は万世一系の天皇之を統治す」とし、第三条で「天皇は神聖にして侵すべからず」として、天皇を神聖不可侵の「現人神」として崇敬することを国民に強要しました。

また、天皇の政治大権（統治権）と軍事大権（統帥権）も規定していました。

新 Q2-2 戦後、天皇の位置づけはどのように変えられましたか。

新 A2-2 日本国憲法は第一章に天皇の項を設け、第一条に「天皇は、日本国の象徴であり、日本国民統合の象徴であって、この地位は、主権の存する日本国民の総意に基く」と規定しています。

従って、天皇は現人神から象徴に変わり、主権は天皇から国民に移りました。

新 Q2-3 それは、日本国民の天皇観に変化を与えましたか。その変化はどのようにして演出されたのでしょうか。注意点は何かですか。

新 A2-3 戦後、新聞やテレビ・週刊誌は新しい皇室像を国民に印象づけるため、皇太子の結婚を華やかに報じたり、明仁天皇の被災地訪問や被災者への声かけを報じることで前天皇の「国民に寄り添う、ありがたい陛下」という一面的なイメージづくりに寄与してきました。

また太平洋戦争の激戦地を訪問し、天皇・皇后が深々と頭を下げる姿を放映することで「慰霊をする天皇」という宗教性を印象付け、気が付かぬ内に国民に、天皇を尊敬するように仕向け、更にそれが現天皇を崇敬することへ導くような影響を及ぼしてきました。

このようなメディアの影響もあって、今ではかなりの割合の国民が前天皇に平和のイメージを抱き、皇室に親しみを感じる人も多くいます。

注意すべきことは、それが現天皇に対する大方の国民感情のようすりかえて、天皇制に関する自由な議論を封じ、崇敬を強要する世論に導く危険性です。そこには主権が国民にあるということを損なう危険があると言えます。

九州中会「戦争罪責の悔い改めの宣言」

九州中会常置委員会 議長 富樫史朗

九州中会ヤスクニ問題特別委員会 委員長 川越 弘

九州中会は、今年度の九州中会において、今年8月15日前後の礼拝で「戦争罪責の悔い改めの宣言」を朗読することが提案され、承認されました。ぜひとも、このことを各教会・伝道所において受け止めて、「戦争罪責の悔い改めの宣言」を礼拝の中、あるいは礼拝後に朗読されますようお願いいたします。

戦後76年を経ても、この国においてかつての戦争罪責が乗り越えられていないどころか、近年ますますその意識が希薄になっております。そのことが日本の危機であり、教会の使命はそれを覚え続けることにあると信じます。

宗教改革者カルヴァンはこう記しています。「パウロは、キリストの体の全ての肢が互いに祈り合うようにと命じている。『肢々は互いに配慮し合い、一つの肢が苦しむなら、他の肢も共に苦しむ』からである(コリント12:24-25)と語る。今なお祈り合う祈りは、我々に先立って天に行かれ、そこで我々の罪の贖いとなっておられる首(かしら)へと昇り行く。」(キリスト教綱要3-20-20)

戦前・戦中の旧日本基督教会の信仰の挫折と弱さを、今日の私たちの教会の痛みとして行くことが、キリストの体を建てることであると考えます。 2021年6月29日

「戦争罪責の悔い改めの宣言」

1. わたしたちの主であるイエス・キリストが、「悔い改めよ」と言われたとき、彼は信仰者の全生涯が悔い改めであることを欲したもうたのである。
2. 「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方であるから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださる」との約束の御言葉に聞き従い、わたしたちは、日本キリスト教会九州中会と、それに連なった先達が過去において犯した罪と、今を生きるわたしたちと、九州中会が悔い改めるべき罪を公に告白し、主のみ前にその赦しを求める。それによって、主がわたしたちの背反の罪と咎を取り除き、今より後、わたしたちを罪から離れさせ、清くしてくださるよう祈る。
3. 九州中会とその肢であるわたしたちは、神のほかにもものをも神とすべきでなかったにもかかわらず、天皇を神とすることに公に否を唱えてこなかった。神のみに従うべきであったのに、神よりも人に従って罪を犯した。その結果、教会合同を行い、戦争協力のための日本基督教団をつくって、それに加わり、教会のかしらなる主キリストのみこころに反した。またその日本基督教団の指令の下に国民儀礼を行い、十戒の第一戒「あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない」と、第二戒「あなたは自分のために、刻んだ像を造ってはならない」に背く罪を犯した。
4. 神を神としなかったとき、教会とわたしたちは人をまことの人とすることもしなかった。隣人を自分のように愛し、尊重することを怠り、人権が犯され、特に植民地支配を受けた人々の生命と財産が奪われようとしたときそれを阻止しようとし、黙認することによって、国家の起こした戦争による大量殺人、性的暴行、略奪の罪に加担した。
5. それゆえ、今、わたしたちはわたしたちとわたしたちの先達の罪を公に言い表して、主の憐れみと赦しを求める。主よ、憐れみ給え。わたしたちと九州中会は聖霊によって新たに造りかえられて、神の聖なる戒めに従い、神と隣人を心から愛し、神と隣人に喜び仕えて、神の国の正義と平和を追い求めて生きることを真剣な決意をもって始めることを宣言する。主よ、助け給え。

<ヤスクニ問題関連ニュース>

○「陛下の様子 宮内庁長官が説明」

天皇陛下が名誉総裁を務める東京オリンピック・パラリンピックについて、宮内庁の西村泰彦長官は24日の定例会見で、陛下が新型コロナウイルスの感染状況を心配していると、「開催が感染拡大につながらないか、ご懸念されていると拝察している」と述べた。<中略>

一橋大の渡辺治名誉教授（政治学の話）

天皇の命令で戦争を招いた反省から、政治的な決断は国民とその代表である議員が行い、天皇に一切の政治的行為を許さない「象徴」とするのが憲法の「国民主権」だ。東京五輪は開催をめぐる賛否が分かれ、政治的な論点になっている。宮内庁長官が「拝察」する間接的な形でも、国民は「天皇は今の形での開催には否定的だ」と受け止め、開催反対派の意見を権威づけることになる。こうした政治的問題は国民や議員が自らの責任で決めるべきことで、国民主権を侵害するこの発言の危険性を認識すべきだ。（朝日新聞：2021.06.25）

○植民地支配を公式謝罪 アムステルダム市長がオランダ初

アムステルダム市のハルセマ市長は1日、オランダで1863年7月1日に奴隷制度が廃止されたことを記念する式典で、旧植民地時代に市が奴隷貿易に積極的に加担し、奴隷の世界的な取引を行っていたと認めて公式に謝罪しました。同国の都市で過去の奴隷貿易に関わる公式な謝罪をしたのはアムステルダムが初めてです。…オランダ政府が設立した人種差別問題について提言を行うための諮問委員会は1日、報告書を発表。奴隷制度は人類に対する犯罪だったと断定し、歴史的な過ちを「可能な限り是正する意思を表明することはできる」として、政府に謝罪を勧告しました。

<編集後記> 国際オリンピック委員会（IOC）の規定では、オリンピックの開催宣言は国家元首が行うことになっているようだ。今回、当然のように天皇が宣言を行ったが、開催を懸念していることが「拝察」されていた天皇に開会宣言をさせたのは、様々な意味で問題があったのではないだろうか。宣言の途中まで着席したままだった菅首相と小池都知事が「不敬」と非難されているらしいが、なかなかややこしい国である。（K.K.）

ハルセマ氏の謝罪はこの勧告に沿った対応です。

報告書は、奴隷制度に起因する人種差別に対処するための取組も提言。「労働市場、住宅、教育、警察における制度的な人種差別に対処することは、特別かつ緊急」だと勧告しています。（しんぶん赤旗：2021.07.04）

○「民意読まぬ安倍元首相のレッテル貼り」

安倍さんの「発言」は、保守系ジャーナリストの桜井よしこさんとの対談記事の中で飛び出した。東京五輪のコロナ対策が万全なのに、野党が開催による感染拡大を懸念している。桜井さんはそう言って「五輪を政治利用している」と批判した。これを受けて安倍さんは「極めて政治的な意図を感じざるを得ませんね。彼らは、日本でオリンピックが成功することに不快感を持っているのではないかと同調。そして語った。

「共産党に代表されるように、歴史認識などにおいても一部から反日的ではないかと批判されている人たちが、今回の開催に強く反対しています。朝日新聞なども明確に反対を表明しました」

安倍さんは首相時代、今回の東京五輪の招致に関わってきた。2013年、東京開催が決まったブエノスアイレスでの国際オリンピック委員会（IOC）総会を覚えている人もいるだろう。あの「アンダーコントロール」発言が飛び出した会合だ。

安倍さんは演説でこの言葉を使い、東京電力福島第一原発の汚染水が制御できていることを強調した。が、五輪を前に政府は海洋放出の方針を決めた。16年のリオ五輪閉会式では人気ゲームキャラクター「スーパーマリオ」の格好で登場し、話題になった。桜井さんの対談でも得意げに触れていた。（東京新聞：2021.07.09）

799号ヤスクニ通信 2021年8月8日
発行 日本キリスト教会靖国神社問題特別委員会
発行人・編集・発行 小塩海平（東京告白教会）